

スーパーティーチャーによる一人一台端末を活用した 授業公開研修



吉野ヶ里町立東脊振中学校 吉田 喜美子 教諭

中学校 第2学年 英語科 Program3 Taste of Culture

ICT活用のポイント

- Reading Progressを使うことで、生徒一人一人が音読練習し、発音や読み方の正確さを自動で検出し改善することができる。
- 自分の考えをpptに書き込むことで、クラスで簡単に共有ができる。
- Formsを使って小テストを行うことで文法の弱点に関して即時フィードバックを行うことができる。

学習の流れ

導入

①音読練習をする。

活用ポイント
【Reading Progress】

②本時のめあてを知り見通しをもつ。

<めあて>
「My Future Plan:
将来設計を立てよう」

展開

③to不定詞を用いた対話演習活動に取り組み、「したいこととその目的」「好きなこと」「すべきこと」をペアで述べあう。

④My Future Planを書きだす。

⑤My Future Planを発表する。

活用ポイント
【Power Point】

まとめ

⑥to不定詞の用法に関するクイズ（小テスト）で文法の知識を確認する。

活用ポイント
【Microsoft Forms】

⑦学習内容をまとめる。

⑧学習を振り返る。





①音読練習をする。
【Reading Progress】

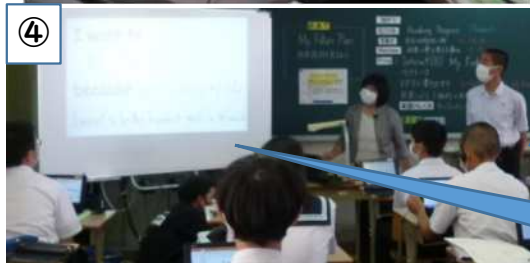
ヘッドセットの活用で大きな声でも
気にならずに音読練習ができます。

自分で確認できるので練習も進み
ます！



④描画ツールを使って直接
書き込むので入力も簡
単！色も使えます！

④My Future Planを書
きだす。
【Power Point】

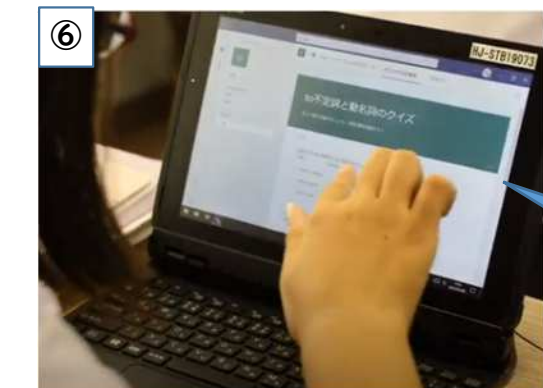


音読練習のおか
げでグループ発
表でも、自信を
もって発音でき
ます。

④端末に書き込んでいるので、クラスでの共
有も瞬時にできます。

⑥to不定詞の用法に関するクイズ（小テスト）で文
法の知識を確認する。【Microsoft Forms】

小テストは点数化もできます。回答したあ
とは送信するだけ！



⑥瞬時に集計し結果を視覚化
することができます！

教師は、小テストの結果を
保存し評価に生かすことが
できます。



令和4年7月8日に行われたスーパーティーチャー吉田喜美子教諭（吉野ヶ里町立東脊振中学校）の実践です。授業の初めには音読練習。ICT「将来したいこと・その目的」について端末に書き込むことでクラスでの共有を瞬時にやり活発な話し合いがされました。それぞれが記入する際もルーブリックを電子黒板に表示することで活動が明確になり、生徒たちの学びが深まっていました。最後はFormsを使って小テストもされました。瞬時に結果が出ることで生徒たちの問題へのやる気も上がっていました。英語ならではのICTの長所をいかし、子供たちの活動を活発にする仕掛けが随所に見られた素晴らしい授業でした。